

科目名		授業形態	担当教員名	
生活環境学		講義	嘉納 綾	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（2 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
この講義では、日本の住環境の特性を知り、それがADLに与えている影響について考える。また、住環境整備の必要性や効果を知り、具体的な整備方法およびその際の留意点を学習する。作業療法士は、福祉用具の専門家でもある。対象者の機能と環境を評価し福祉用具を選定するためには、用具の特性や使用方法を知っておく必要があるため、演習を通して学習していく。また、介護保険における住宅改修や福祉用具貸与・購入制度についても学習する。				
授業の到達目標				
1. 日本の住環境の特性を説明できる。 2. 住環境整備の必要性とその効果を説明できる。 3. 住環境整備の方法について説明できる。 4. 事例の住宅改修プランを考えることができる。 5. 標準的な福祉用具を列挙し、特徴を説明できる。 6. 福祉用具を導入する際の留意点を説明できる。 7. 福祉用具の適応について説明できる。 8. 介護保険制度について説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	福祉用具について			
2	福祉用具（起居・床上）			
3	福祉用具（移乗・移動）			
4	福祉用具（その他）			
5	福祉用具のまとめ			
6	日本の住環境について			
7	住環境整備の実際（グループワーク）			
8	〃			
9	〃			
10	〃			
11	発表			
12	発表			
13	住環境整備の実際（事例）			
14	〃			
15	まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	60%	到達目標の達成度で評価する		
レポート	25%	福祉用具レポート、家の間取り図、住環境整備のグループレポートで評価する		
小テスト				
平常点				
その他	15%	発表で評価する		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
作業療法学全書 改訂第3版 第10巻 福祉用具の使い方・住環境整備	木之瀬 隆・編		協同医書	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				
演習を行うので、動きやすい服装で参加すること。また、グループワーク、発表には積極的に参加するように。教科書を読む等の予習をしっかりと行うこと。				